

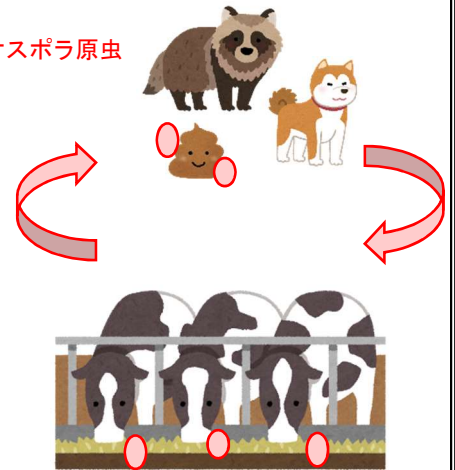
ネオスポラ症にご注意！！

ネオスポラ症は、原虫の感染により流産を引き起こす病気で、季節を問わずに発生します。今年度、本県内でも発生しました。

どうやって感染するの？

- 肉眼では見えない寄生虫を口から摂取する
(= **飼料と一緒に食べちゃう!**) ことで感染
- 感染牛の胎盤には原虫が含まれ、**胎盤を食べたタヌキなどイヌ科の動物に感染して糞便中に排出**
- 成牛への感染源は、ネオスポラ陽性の犬やタヌキなどの糞便。これらの動物が飼料周辺や飼槽の中に糞をすると、**飼料は原虫に汚染され感染源**となる

○ネオスポラ原虫



どんな症状？

- **流産** (通常3～8か月) や死産など (繰り返すことも)
- 虚弱や起立不能等の神経症状を示す子牛の出生
- 胎盤経由で母牛から **胎子に垂直感染**
- 胎内で垂直感染後正常に生まれた子牛は潜伏感染牛となる
- 流産等は必ず起こるわけではなく、次は正常に分娩する場合もある

乳牛での発生が多いんだって！
流産が多くて心配なときは
家保に相談だね！



予防法・治療法は？

- 有効な **ワクチン、治療薬なし**
- 牛舎・飼料庫への **野生動物侵入防止** (ネットを張る、草刈り等で見通しよく)
- 胎盤の確実な処理 (すぐに片付ける!!)
- 原虫の持ち込み防止 (長靴の交換・洗浄消毒)

大切なのは **原虫を牛の口に入れないこと!!!**
飼料に **犬・タヌキを近づけない** ことが最重要!!
胎盤を牛舎内に長時間放置しない!
飼槽の前はキレイな靴で歩きましょう!

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 ファクシミリ 0463-58-5679